

# itya 新作映像 銀座・伊東屋にて公開

7月28日

ほぼ月刊  
テラダニュース  
2017/7 公開マジか? vol.41  
題字: 栗辻デザイン  
TERADA M:O:K:E:I



**「野麦峠のようだ」**  
これが、製作現場を訪れた寺田の感想だ。女工さんが黙々とカイコの糸を紡ぐように、テラダモケイスタッフ(全員女性!)が黙々と作業をこなしていく。この作業、一見単純労働に見えるが野麦峠とは大違いだ。今回は満員電車の映像。群集心理、人と人の間合いのアルゴリズムを解き明かし、このディフォルメして置き換えていく。まさに、熟練の技だ。これについて寺田氏は「英国オックスフォード大学発表の10年後でも絶対に残る職業のなかに『テラダモケイのモデラー』というのがあった。野麦峠の女工さんはもはや消えてしまったが、テラダモケイは消えない。永久に不滅だ!と自信たっぷりだ。」

**通勤ラッシュを再現!**  
制作現場のなごやかなひとコマ



制作現場のなごやかなひとコマ

**TERADAMOKEI PICTURES 第3弾映像作品「1/100 TRAIN Station」上映イベント**

会場 : 銀座・伊東屋 G.Itoya B1 Inspiration Hall  
日程 : 7月28日(金) ~ 8月14日(月)  
時間 : 平日 10:00 ~ 20:00 (日曜 及び7月31日は19:00 まで)  
入場料 : 無料  
トークショー: 「映像制作秘話」(テラダモケイ HP よりお申し込みください 定員 30名) 8月11日(祝) 16:00~17:00 出演 監督: 岡崎智弘・製作: 寺田尚樹  
ワークショップ: 会期中 毎日2回開催  
11:00~14:00 (受付は13:00まで) 15:00~18:00 (受付は17:00まで)  
参加費 1000円+税 (透明キューブ型ケース 付き)

**デザイナー!急募!**

＜業務内容＞  
建築・インテリア設計  
プロダクトデザイン  
テラダモケイの企画のデザイン  
イベントの企画、運営

詳しくは  
テラダデザインホームページ  
www.teradadesign.com

お問い合わせ先  
info@teradadesign.com

## 1/100 TRAIN Station

テラダモケイピクチャーズが贈る第3弾映像作品「1/100 TRAIN Station」が銀座の老舗「伊東屋」にて公開間近だ。映像は公開当日に YouTube でも配信される予定。テーマは前々作の「渋谷スクランブル交差点」そして前回の「田植え」に続き、日本の日常の風景。

今回は、ラッシュ時のホームの風景。発着を繰り返す通勤電車、整列乗車をする礼儀正しい日本人。しかも全然楽しくない、できることならばそこにあまり居合わせたくない場面だ。しかしそれをあえて映像化することにした。なぜならそんな情景も外国人からみればストレンジでエキサイティングで、クレイジーでアンビリーバブルでベリージャパニーズな情景だからだ。

これは、今後のテラダモケイの主戦場を海外に見据えたとも受け取れる。今回も撮影には7人のスタッフが11日(延べ77人工※)の手間をかけた。そしてプリプロダクションにも780人工。ポストプロダクションに14人工。合計871人工(ひとりで行ったら871日かかる計算)という膨大なエネルギーが注ぎ込まれた。前作と同様、脳内麻薬が出て来て気持ち良くなっていく。

監督: 岡崎智弘 製作総指揮: 寺田尚樹  
※人工(にんく):1人が1日で行うことのできる作業量、工数。人日(にんにち)ともいう。

**スポーツライミング編**

壁を乗り越えてこそ人生

人生、誰でも壁に直面することがあるものです。そしてその壁を乗り越えてこそ、新たな人生が拓けるといいます。まずは1/100の壁を乗り越えてみませんか?

写真: 益永研司

**1/100 スポーツライミング編 075**

ARCHITECTURAL MODEL ACCESSORIES SERIES No.75: SPORT CLIMBING

オリンピック競技3種とクライミングジムを再現

**1/100 ハロウィン編 076**

ARCHITECTURAL MODEL ACCESSORIES SERIES No.76: HALLOWEEN

もはや現実逃避の口実となりつつあるハロウィン

写真: 益永研司

**ハロウィン編**

日常のなかの非日常

近年、日本でも盛り上がりを見せるハロウィン。とにかくなんでもいいから理由を見つけて盛り上がりたいたい! 仮装をして街に出る勇気のない方は、自宅でテラダモケイをお楽しみください。

写真: 益永研司

**寺田模型出版の絵本**

仕様:A6判変型 上製本 カラー24ページ 言語:日英バイリンガル表記 定価:1,500円+税

1/100 しらゆきひめ 1/100 ももたろう

**お詫びとお知らせ**

4月1日発行の本紙号外の記事について一部の読者に誤解を招いてしまった事を深くお詫びいたします。本紙は今後もジャーナリズム精神を遵守し、エイプリルフール以外は真実のみを報道していく所存です。従って本号記事は全て取材に基づく真実です。そして、次の4月1日号に向けての取材も鋭意取り組んでいきます。来年もご期待ください。

**原器くん**

伊東屋さんなんて僕たち「モボ」だね。

謹告

親しい友人という先輩が亡くなった。テラダニュースを楽しみにしてくれていて、発行するといつもコメントをくれ、勇気づけてくれた。これからもテラダニュースを書くたびに彼を思い出すことにしたい。